

平成 2 5 年度
危機管理室予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 5 年度危機管理室予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・・・ 5

1 平成25年度危機管理室予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成25年度危機管理室予算要求総括表

【一般会計】

平成25年度要求総額 218,044千円
 (平成24年度予算額 231,755千円)
 前年度比 5.9%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算要求額 (A)	平成24年度 予算額 (B)	増減 (A - B)
防災行政無線高度化事業	4,583	8,500	3,917
北九州市総合防災訓練	9,523	7,000	2,523
防災行政無線整備(維持)	20,325	23,790	3,465
みんな de Bousai 推進事業	33,941		33,941
緊急速報メールを活用した 市内一斉シェイクアウト 訓練	2,420		2,420
非常食糧飲料水備蓄整備	18,802		18,802
危機管理推進事業	5,787	8,006	2,219
被災地復興支援事業	68,105	82,000	13,895
新・予防情報システム及び北九州市総合防 災情報ネットワークシステムの再構築	7,589	7,589	0
防災情報収集システム整備	4,869	1,904	2,965

(2) 平成 2 5 年度危機管理室経営方針

危機管理室では、「元気発進！北九州」プランに掲げる「健康で安全・安心な暮らしの実現」に向けて取り組んでいくとともに、東日本大震災の教訓と支援の経験等を踏まえ、「想定を超える災害でも命を守れる防災体制」を目指すため、次の5つの基本方針を経営方針として定め、総合的防災体制の充実強化に取り組みます。

1 想定を超える災害でも命を守れる防災対策の強化

東日本大震災を教訓として、危機管理室は、市民の生命を守ることを最優先に考えた災害対策を実施します。想定を超える大規模な災害が発生した場合でも、市民に対して的確な災害情報を提供できる体制整備、市民が主体となった適切な避難行動、避難所運営につなげるため、実践的で効果的な訓練や対策を推進します。

2 地域全体で、市民自身が高める防災力

本市の地域全体の防災力、市民一人ひとりの防災力を高めるため、市民防災会などの自主防災組織や事業所で構成される自衛防災組織との連携強化を図ります。また、想定にとらわれない防災意識・避難行動の普及啓発、過去の災害経験の伝承を通じて、市民主体による防災を文化として定着させることを推進し、「自分の命は自分で守る」という自助・共助意識の向上を図ります。

3 危機から市民を守るまちづくり

地方自治体における危機管理の対応の範囲は、自然災害に加え社会的、人為的な事象へと広がってきており、より幅広い対応が求められています。危機管理室は、想定される危機の発生防止に努め、危機が発生したときには各局区室が一体となって、迅速に対応して被害の防止や軽減を図り、市民を守るための対策に取り組みます。

4 被災地の支援

東日本大震災や九州北部豪雨の被災地では、復旧・復興に向け懸命な取り組みがなされています。

本市はこれまで、岩手県釜石市や福岡県うきは市等に市職員を派遣するなど様々な支援を行ってきました。

来年度も引き続き、被災地のニーズに沿った支援活動を行います。

5 市民を守るための組織づくり

危機管理室は、消防局から独立した組織として発足し、2年目を迎えます。職員の危機管理意識の向上、災害対応能力の強化など、「市民を危機から守る市役所組織、市職員」の育成に取り組みます。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 想定を超える災害でも命を守れる防災対策の強化

- | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 1・継続 | ・防災行政無線高度化事業
(事業概要)
地域住民に一斉に避難勧告等の通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線を整備する。 | 4,583 千円 |
| 1・拡充 | ・北九州市総合防災訓練
(事業概要)
地域防災計画で定められた訓練を、25年度は防災関係機関等の総合的な図上訓練として行う。 | 9,523 千円
(うち拡充分 2,523 千円) |
| 1・継続 | ・防災行政無線整備(維持)
(事業概要)
防災行政無線機器等の整備点検を行う費用。 | 20,325 千円 |

(2) 地域全体で、市民自身が高める防災力

- | | | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1・新規 | ・みんな de Bousai 推進事業
(事業概要)
市民自身の防災力を高めるための効果的な防災政策を研究・検討する。また、講演会等開催を通して、地域防災力の向上を目指す。 | 33,941 千円 |
| 1・新規 | ・緊急速報メールを活用した市内一斉シェイクアウト訓練
(事業概要)
緊急速報メールを活用したシェイクアウト訓練を実施し、市民の防災意識向上の一助とする。 | 2,420 千円 |

(3) 危機から市民を守るまちづくり

- | | | |
|------|---------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1・新規 | ・非常食糧飲料水備蓄整備
(事業概要)
津波被害想定等の見直しに伴い、想定が増大した避難者の食糧及び飲料水の備蓄を進める。 | 18,802 千円 |
| 1・継続 | ・危機管理推進事業
(事業概要)
危機管理マニュアル等の整備、研修等の実施により危機管理能力・体制を向上する。 | 5,787 千円 |

(4) 被災地の支援

1・新規	・被災地復興支援事業 (事業概要) 東日本大震災被災地、九州北部豪雨被災地の復興支援を行う。	68,105 千円
------	------------------------------------------------------	-----------

(5) 市民を守るための組織づくり

1・継続 (債務負担)	・新・予防情報システム及び北九州市総合防災情報ネットワークシステムの再構築(債務負担)	7,589 千円
----------------	---------------------------------------------	----------

(事業概要)

稼働中の北九州市総合防災情報ネットワークシステムと予防情報システムについて、機能不足によるシステムダウン等に対応するためソフト及び機器を再構築する。

1・継続 統合	・防災情報収集システム整備 (事業概要) HP「防災情報北九州」やJ - A L E R Tなどの防災情報収集のためのシステムメンテナンスを行う。	4,869 千円
------------	---------------------------------------------------------------------------------	----------

3 事務事業の見直し等（主なもの）

（１）行政評価による見直し

危機管理推進事業の見直し

本市の各種危機管理マニュアルや研修体制の作成作業を見直し、マニュアル印刷冊数の見直し、研修時の講師を職員が行う等の工夫を行い、経費削減につなげるもの。